

# 循環器内科

## ■研修内容

循環器内科では、多くの循環器専門医が診療にあたっており、一般診療はもちろんのこと、急性疾患に対する救急医療も身につけることができます。さらに、各サブスペシャリティ専門分野の経験豊富なスタッフから最先端の高度医療を学べます。循環器内科研修では指導医の指導・監督のもと、以下の各分野の入院患者を担当します。

週に一度のカルテ回診、症例検討会に参加し、研修医の先生持ち回りで興味深い受け持ち患者について発表してもらい、循環器疾患についての知識を深めるとともに、検討会で発表した症例を日本内科学会地方会や日本循環器学会地方会などで発表していただき、学会発表の経験も積んでいただきます。

1. 冠動脈疾患（心筋梗塞・狭心症の心臓カテーテル検査、PCI）
2. 心不全（薬物療法、心臓再同期療法、補助循環、心臓移植申請）
3. 難治性不整脈（薬物療法、ペースメーカー/ICD移植術、カテーテルアブレーション）
4. 大動脈疾患（胸部大動脈瘤・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術、急性大動脈解離の内科治療）
5. 末梢血管疾患（閉塞性動脈硬化症 重症下肢虚血）
6. 肺動脈疾患（肺血栓塞栓症 肺動脈性肺高血圧症 慢性血栓塞栓性肺高血圧症）
7. 構造的な疾患（Structure Heart Disease）に対するカテーテル治療（大動脈弁狭窄症に対する経皮的な大動脈置換術（TAVI）、僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁クリップ術（MitraClip）、心房中隔欠損症に対するカテーテル閉鎖術）

病床数：一般病棟 61床 CCU 8床

2019年診療状況：入院患者数 1832名 平均在院日数 7.7日

冠動脈インターベンション 353例 末梢血管インターベンション 186例 ASD/PFO閉鎖術 15例

経皮的な大動脈弁置換術(TAVI) 53例 経皮的僧帽弁クリップ術(MitraClip) 8例

ペースメーカー/ICD/CRT-D移植術 134例 アブレーション 515例 ステントグラフト 39例

臨床アクティビティーが非常に高いのが循環器内科の特徴です。

研修中は6-10名の担当患者を受け持ちます。

## ■週間スケジュール

AM8:00～CCU回診 AM 8:20～朝カンファレンス（前日入院症例のプレゼンテーション）

月曜日 18:00心臓血管外科との合同カンファレンス 19:00心不全カンファレンス

火曜日 17:00症例検討会（研修医による症例発表） 18:00カルテ回診

水曜日 19:00心臓カテーテルカンファレンス

1週間のうち2コマ（半日1コマ）の副病棟医、週に1回程度の当直（副直）の際に、救急当番のスタッフと一緒に救急外来での診療や他科からのコンサルトに対応いただくことで、緊急症例に触れる機会を多数提供します。

## ■ 1年次の研修目標

- 病棟での患者診療とケアの基本、基本的なカルテ記載を習得する。
- コメディカルスタッフや上級医とのコミュニケーションを保ちチーム医療ができる。
- 急性冠症候群、心不全、大動脈解離、肺血栓塞栓症など緊急対応を要する疾患について、救急外来で初診の段階から担当医として診断・治療に関わり、初期対応を学ぶ。
- 急変時対応について、心肺蘇生(CPR)の手技を学び、実践する。
- 心臓(心室・弁膜・冠動脈・肺動脈)・大動脈・末梢動脈の解剖を理解し、カテーテル所見、CT所見等を理解することができる。
- 心エコー所見を理解し、簡易なエコーは自身で施行できるようになる(上級医による指導を行ないます)。
- 動脈硬化の危険因子(高血圧、脂質異常症、糖尿病)の管理を行なうことができる。
- 循環器疾患の薬物療法について理解・知識を深める。
- 循環器疾患のリハビリテーションについて理解・知識を深める。
- 電気生理学検査(EPS)やアブレーションの基本的事項を理解する。
- PCI、PTA、アブレーション、ステントグラフト、TAVI等侵襲的手技の治療適応を理解する。
- 日本内科学会地方会、日本循環器学会地方会、日本心血管インターベンション治療学会地方会等にて学会発表を行う。

## ■ 2年次の研修目標

上記の1年次研修目標に加え、

- 循環器内科の専門性、あるいは関連診療科の専門性を見据えた診療技能を習得する。
- CCUでの集中治療管理、血液浄化療法や補助循環を装着した患者の全身管理を身につける。指導医のもと中心静脈カテーテルの挿入を術者として行う。
- 心臓カテーテル検査について、穿刺・シース導入や右心カテーテル検査について指導医のもと実施する。

## ■ 研修医教育プログラムについて

循環器内科の診療は、研修医の先生による担当医、専門修練医や医員による病棟主治医、助教以上のスタッフの3人主治医制を基本としておりますが、2018年度よりグループ制を導入し、さらに多くの医師のバックアップの下で診療にあたっていただきます。

各入院患者毎に主治医、担当医を決定し、特定の疾患・治療に偏ることの無いように担当患者を決めています。研修医の先生方から希望がある場合には、病棟医長に相談いただければ経験したい疾患を優先的に担当いただけます。

スタッフによる研修医レクチャーを随時行っており、心電図、心エコー、心不全の病態、循環作動薬、抗血小板/抗凝固療法、その他ローテート中の研修医の先生方の希望に応じて少人数でレクチャーを通じて、循環器診療の理解を深めてもらっています。

## ■ 研修が推奨される診療科

- ・救急部
- ・ICU・麻酔科
- ・糖尿病内科
- ・腎臓内科
- ・心臓血管外科
- ・呼吸器内科

研修に関して不明な点や見学の希望があれば、以下に問い合わせをお願いします。

京都大学医学部大学院医学研究科 循環器内科 病棟医長室 075-751-3188(内線3188)

医局HP <http://kyoto-u-cardio.jp>

FB:<https://www.facebook.com/kuhp.cardio/>

見学の御希望：e-mail：[kengaku\\_cardio@ml.kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:kengaku_cardio@ml.kuhp.kyoto-u.ac.jp)